

# 六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成  
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 10月号  
令和2年10月16日  
松阪市立嬉野中学校  
校長 山下隆久

## 前期から後期へ引き継がれる 生徒会「自治」の力

### 「自治」の力とは

自分や自分たちに関することを自らの責任において処理できる力、自分たちで自分たちを高めていくことができる力のこと。

10月に入り、秋らしくなってきました。保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと思います。前期末保護者会、誠にありがとうございました。お子様につきましては、前期の成果や反省を活かし、10月12日より始まった後期を『実りの秋』にふさわしく自分の力を充実させる時期にさせていただきたいと思っております。

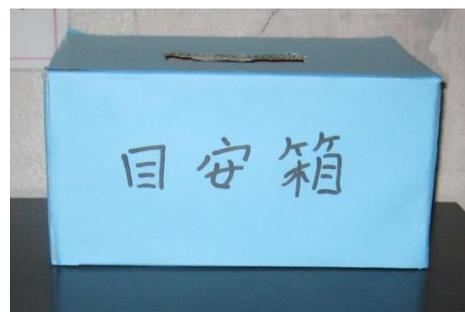


9月25日(金)に後期生徒会役員選挙が実施されました。候補者一人ひとりの演説は、自分の考えや思いをしっかりと伝える素晴らしいものでした。「生徒みんなが過ごしやすい楽しめる学校にしたい」「笑顔と挨拶であふれる学校にしたい」「一人一人が輝ける学校にしたい」「自分たちの学校は自分たちで創る！」などの思いが迫力とともに伝わってきました。

演説会で候補者が伝えようとしたことは、まさに「自治力のある生徒会にしていこう！」ということです。逞(たくま)しい演説会であったとともに、これからの社会を生きるために大切なことを訴えた演説会だったと感じています。

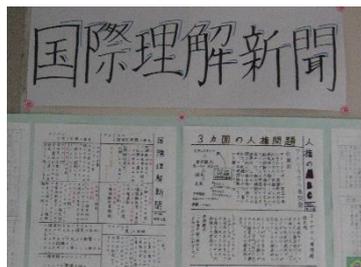
選挙後の9月29日(火)ロビーに右写真の「目安箱」が設置されました。任期を終える前期生徒会役員が校長室に来てくれて、「みんなの意見をまとめて、もっと良い学校にしていくために設置をお願いします。」と前川晴菜会長を代表として、直接伝えられました。

前期から後期へ引き継がれた「生徒会自治の力」が生み出していく学校祭や人権フォーラム、日々の生活や生徒会活動でのみなさんの姿が楽しみです。



## 豊かさを育む『国際理解学習』

嬉野中学校は教育活動を通して「ひとりだち（自立）」と「豊かさ（心）」を育むことを目的としている学校です。中学1年生で行う「国際理解学習」は豊かさを育む学習です。ウーさん・ロッシさん・アイビーさんに来ていただき、カナダ・ブラジル・アメリカの国や文化・考え方を知ることを通して、自分たち一人ひとりが学びを深めていきました。



例えば、カナダでは靴を履いたまま家で生活します。靴を他人の家で脱いだら馴れ馴れしくて失礼だそうです。さて家で靴を脱ぐ日本人は失礼なのか？という学びです。学んだことを1年生のみなさんは、個人新聞としてまとめました。なかなか興味深い内容でした。



## 修学旅行10月3日～5日

### 深めようクラスの輪

### 一生の思い出がここにある！

天倉実行委員長の「みんなの協力で、最高の思い出を創りましょう。」という呼びかけでスタートした3日間でした。

コロナ禍で思うようにいかないことが多かった今年の修学旅行でしたが、実行委員を中心に準備し、3年生みんなの力で目標を達成できたと思います。

クラスの輪を深め、一生の思い出をつくることができたのは、保護者の皆様のご理解いただきご協力いただいたお陰と、感謝しております。また、ふるさと会館到着時に点灯していた会館の電気をあたりまえとっておりましたが、会館職員の方々のご配慮と知りました。多くの方々に支えられていることを改めて感じております。ありがとうございました。



## 命を守るために わたしたちができること



10月12日（月）防災学習を実施しました。避難行動を行った後、起震車体験をしました。震度7は観ている方もびっくりでした。体育館に移動して防災講話を聴かせていただきました。「自助・共助・公助」と言われますが、中学生の担う役割は大きいと学びました。

**中学生も地域の一員です！**